

パーソナリティ障害の現在

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団
 企画講師：牛島 定信 先生（三田精神療法研究所所長）
 講座日程：全5回

回	開催日	講 義 内 容 (予定)	講 師 (敬称略)
1	6/7 (水)	総論：パーソナリティ障害の現在	ほづみクリニック院長 牛島 定信
2	6/14 (水)	うつ病臨床とパーソナリティ障害	国際医療福祉大学三田病院精神科教授 平島 奈津子
3	6/21 (水)	スキゾイドとパーソナリティ障害	聖みどり病院副院長 喜多 洋平
4	6/28 (水)	パーソナリティ障害の精神療法	医療法人社団慶神会武田病院院長 武田 龍太郎
5	7/5 (水)	発達障害とパーソナリティ障害	東京慈恵会医科大学精神医学講座准教授 同大学附属病院精神神経科診療医長 小野 和哉

講義時間：毎週水曜日、午後6時30分～8時（90分）

受講料：10,000円（税込み）

定 員：45名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

受講対象：精神保健の領域で、治療・教育・相談・指導等に携わっている専門家の方々、ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方、企業・学校・地域社会のメンタルヘルス関係者

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室

東京都豊島区高田 3-19-10 TEL 03-3986-7021

（JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分）

パーソナリティ障害は、DSM-Ⅲ（1980）に登場して以来、臨床家の注目するところとなって、手首自傷、過量服薬でもって周囲を混乱させる境界性パーソナリティ障害はその最たるものである。ところが、時の経過とともに、精神病の軽症化と神経症の重症化が進む中で、手首自傷、過量服薬は、精神病や神経症の一症状となり、背後のパーソナリティ問題を考慮に入れざるを得なくなっている。しかも、それらのパーソナリティ障害も多様化していることも忘れてはならない。いわば、境界水準で機能するパーソナリティ障害という概念を導入せざるをえなくなっているのである。さらに、成人の発達障害（自閉症スペクトラム、ADHD）の存在も無視できなくなってきた。この領域の臨床が複雑になってきているのである。本講座では、これらを整理し、対応のあり方を考えたいと思う。

【三田精神療法研究所所長 牛島 定信】

※事例を扱う関係から、守秘義務を守れる方に限定します。